

域内横断的な取組

新潟県

富山県

石川県

福井県

山梨県

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

自ら課題を設定し、探究する資質を備えたデジタル人材の育成

探究・STEAM教育の推進

○デジタルを活用した文理横断的・実践的な学びの強化

教員研修（実施要領2.（1）関連）

- 「教科横断的探究プロジェクト研修」
 - ・STEAM教育や探究的な学びの推進に向けた教科横断的な視点による指導力の向上
- 「データサイエンス講座Ⅰ・Ⅱ」
 - ・データの収集・分析等、課題解決の手法についての理解の深化
- 先進校視察
 - ・データサイエンスや生成AI等を活用した探究的な学びを実践している先進校を視察

生徒向け講座（実施要領2.（3）関連）

- 「探究・データサイエンス講座」
 - ・希望する生徒を対象とした、計5回の連続講座
 - ・データサイエンスや生成AI等の活用を学ぶ機会を設定し、各学校での探究的な学びに接続
 - ・大学教員や企業のデジタル人材等を外部講師として活用

域内のデジタル人材育成

探究的な学びに向けた取組の推進

○正解が一つに定まらない問いに向き合い、各教科で培った資質・能力を総合的に活用する探究的な学びの強化

成果普及（実施要領2.（2）関連）

- 「研究協議会」
 - ・最新の技術動向や実際の活用事例の紹介
 - ・採択校の悩みの共有等
- 「DXハイスchool取組事例発表会」
 - ・実践事例の発表（成功事例及び課題の共有）
 - ・指導法に関する講演やワークショップ

成果発表会（実施要領2.（4）関連）

- 「STEAM教育セミナー」
 - ・生徒向けのSTEAM教育を柱にしたセミナー
 - ・STEAM教育に関連する基調講演、体験型のワークショップ、生徒の成果発表会等
 - ・大学教員等を講師、助言者として活用

伴走支援（実施要領2.（5）関連）

- 取組状況の進捗把握
- 大学教員等からの指導・助言等を実施

- 採択校の取組等を活かし、中学生や地域住民を対象とした公開講座やワークショップ
 - ⇒ データサイエンスや生成AIの基礎的な知識を学ぶ機会を提供
- 企業や大学と連携したインターンシップや実践的なプロジェクト
 - ⇒ デジタルスキルの実践的な活用を促進

専門的知見を有する大学や企業等と連携し、以下①～④を実施

①教員研修 ②生徒講習
(実施要領2.(1) (2) 関連)

①生成AI等の活用に関する教員
研修（講義及びワークショップ）

デジタル技術に対する理解を深めるとともに、活用する力を身につけ、指導計画や指導法の充実を図る。



②生成AI等の活用に関する生徒
講習（講義及びワークショップ）

デジタル技術を活用した探究活動のプロセスについて学び、課題解決力を育成する。

③DX加速化推進協議会（仮称）
(実施要領2.(2) 関連)

採択校の取組を共有するとともに、課題について協議することで、優れた取組を横展開しながら深化を図る。



④コーディネーターの配置
(実施要領2.(5) 関連)

コーディネーターを配置し、域内採択校の取組状況の進捗把握をするとともに、デジタルをフル活用した探究活動の指導計画立案、授業時のファシリテーション、生徒の探究活動に対する助言など、各校の要望に応じた支援を行う。

石川県

「体験」&「連携」でDXの山づくり

取組内容①（実施要領2.（1）関連）

教員

「探究活動におけるプロンプトエンジニアリング」

県内の教員から希望者を募り、地元大学から講師を招き、ChatGPTやGeminiなどの生成A Iを活用し、高等学校における探究活動の質の向上を実現するための手法を学ぶ。特に、**課題設定**や発表原稿の推敲での活用方法を探る



関連

取組内容③（実施要領2.（4）関連）

生徒

「採択校の生徒を対象にした『コンテスト』を実施」

外部から講師を招き、デジタルクリエイティブ技術及び論理的思考力の育成を目指すコンテストを開催する。**課題解決**に向けて、グループごとに協働し、データを活用しながら成果物の作成および発表に取り組む。それに対し、専門家等により審査・助言を行う



～裾野をひろげ、エキスパート予備軍を育成～

取組内容②（実施要領2.（1）関連）

教員

「デジタルツールを活用した授業デザイン」

県内の教員を対象に、探究学習や情報Ⅱの授業で役立つデジタルクリエイティブ能力を身につけることを目的として、無料のデザインツールを用いた**創作体験**を通じて、デジタルコンテンツを制作する上での実践的なコツや注意点を学ぶ



関連

取組内容④（実施要領2.（3）関連）

生徒

「生成A I 1 Dayプログラム」

生成A Iを実際に使って**創作活動**に取り組むコースから興味関心のある講座を選び、オリジナル作品をつくる。体験を通じ、生成A Iの基礎スキルを習得する



取組内容⑤（実施要領2.（5）関連）

「情報共有 + SOS の場を設定し、採択校同士の横展開や大学・企業とマッチングできる仕組みを構築」

採択校の教職員、教育委員会からなる『石川DXチーム』をTeamsで作成し、「情報共有」、「機器購入」、「講師依頼」など具体的なチャネルを作成し、日常的な意見交流の場を設ける。また、石川県内の高校が、DXハイスクール採択校の取組について、対面で話を聞くことができる場を設定する。（継続校による取組発表：普通科1校、職業科1校）

福 井 県

持続可能なデジタル人材の育成を目指して

域内の
デジタル人材育成

相互作用

DXハイスchool
指定校

普及

教員対象研修会（実施要領2.（1）関連）

教員を対象としたデジタル技術に関する研修を実施し、教員の資質・能力の向上を目指す。



DXハイスchoolアドバイザー（実施要領2.（5）関連）

DXハイスchoolの取組について助言・指導を行う大学教員、教育関係者等の有識者によるアドバイザーを設置する。

助言

助言

取組成果の普及（実施要領2.（2）関連）

県内のDXハイスchool指定校による令和7年度の取組についての報告会をオンラインで実施する。県内への普及を目的に、DXハイスchool指定校以外からの参加も広く募る。



DXハイスchool指定校の生徒が一堂に会し、各校のこれまでの取組についての情報交換を行うとともに、有識者やIT関連企業、大学等の機関から先端の情報技術について学び合う学習会を開催する。



DXハイスクール取組事例発表会・研究協議会 (実施要領2. (2), (4) 関連)

目的：探究学習の活性化
対象：希望する生徒・教員
内容：域内の学校の探究成果発表と
相互交流の場、採択校同士及び外部
有識者との情報交換の場を設ける。
併せて、著名人による講演を行う。



情報Ⅱ等に関する教員向け研修 (実施要領2. (1) 関連)

目的：教員の指導力向上
対象：県内教員
内容：オンデマンド研修を活用し、
プログラミング、データサイエンス、
生成AI等のICT利活用について学ぶ。

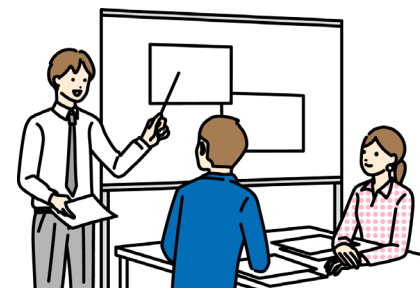
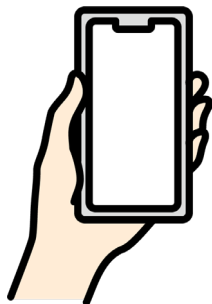
域内の希望する高校生等を対象 としたデジタル人材育成講座の 開講（実施要領2. (3) 関連）

目的：DX人材のすそ野拡大
対象：希望する生徒
内容：企業から講師を招き、習熟度
別にプログラミングの概念やその活
用について学ぶ。

域内のデジタル 人材育成

目的：DXリーダーの育成
対象：採択校の代表生徒
内容：採択校の代表生徒によるチ
ームがメンターによる伴走型サポ
ートの下、情報技術を活用した課
題解決に挑む。

プログラミング等情報技術を活用した課題解決に 関するコンテスト（実施要領2. (4) 関連）



長野県

D Xハイスクールを核としたデジタル人材の育成

高度で専門的な学びの充実



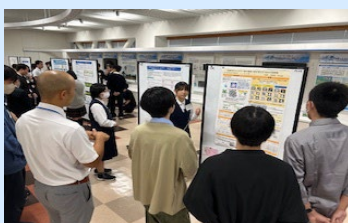
生徒実習の実施 (実施要領2. (3) 関連)

実践型のデジタル人材育成講座
【高大連携】
・科学エキスパート講座（情報）
【総合教育センター】
・ドローンプログラミング実習
・AIロボット実習 等



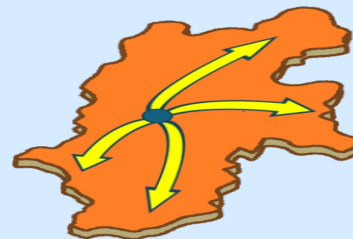
取組成果発表会の実施 (実施要領2. (4) 関連)

コンテスト等を通じた学びの高度化
・長野県学生科学賞作品展覧会
・マイプロジェクト長野県サミット
・信州ベンチャーコンテスト
・課題研究発表会
（長野県探Qフェスティバル） 等



学びのプラットフォームの整備 (実施要領2. (6) 関連)

南北に長く面積も広い県土を踏まえ
総合教育センターの配信拠点化
・DXハイスクール事業の推進
・個別最適な学びの実現
・情報Ⅱ、数学ⅢC等の遠隔授業
による小規模校での履修促進



デジタル等 成長分野を 支える人材



高度で専門的な学びの充実によるデジタル等成長分野を支える人材育成

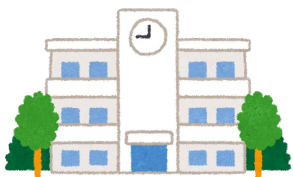
教師の指導力、 専門性の向上

教員研修の実施 (実施要領2. (1) 関連)

指導力、専門性向上のための研修
・教科「情報」プログラミング
・教科「情報」データ活用
・ドローンプログラミング
・AIロボット制御技術
・製図技術（3DCAD） 等



伴走支援と 成果の普及



研究協議会の実施 (実施要領2. (2) 関連)

DXハイスクール採択校の交流と
県内他校への成果普及
・DXハイスクール連絡会（定期）
・DXハイスクール研究協議会
・取組事例発表会
（長野県探Qフェスティバル） 等



DXハイスクールの伴走支援 (実施要領2. (5) 関連)

採択校の取組状況の進捗把握、
指導助言による伴走支援
・DXハイスクール連絡会（定期）
・担当指導主事による学校訪問
・総合教育センター専門主事、大学
教員等による専門的な指導助言



多様な専門性を 有する質の高い 教職員集団



岐阜県

学校横断的な探究的な学び



実施要領2.(1)～(5)全般に関連

岐阜県教育委員会 事務局としての支援

【高校教育課】

- ・教育課程講習会

【教育研修課】

- ・教員研修各種
(ICT活用,生成AI,
教育データ活用,動画編集等)

【成果普及・情報公開】

- ・岐阜県総合教育センター及び
各採択校の学校ホームページ
に取組情報を公開

【研究協議会】

- ・採択校間での情報交換、進捗
状況、課題の共有を定期的
に開催
- ・県内高等教育機関の専門家
による指導・助言

【情報交換チャンネル】

- ・Microsoft Teamsの活用によ
る採択校への情報提供

【生徒の資質・能力の育成】

- ・生徒対象の講座の紹介・実施
または高等教育機関の授業、
講座の受講
(アプリ制作,プログラミング,
ドローン操作,3Dプリンタ等)

【生徒の成果発表会】

- ・採択校含む、理数系事業指定校
の生徒による合同課題研究報告
会の実施（ポスター発表等）。
・デジタル分野の課題解決プレゼ
ンによるコンペの開催

実施要領2.(1),(2)関連

教師の指導力・専門性向上

- ・各種研修・講座の受講による機器の操作スキル及び
機器を活用した指導力の向上
- ・成果普及や情報公開により、探究的な学びの手法を
域内全体へ展開
- ・生徒の成果発表会の取組を広め、学校をまたいだ
課題研究を展開

⇒教員のデジタルスキル・リテラシーの育成・向上に
より、デジタル機器の活用や探究的な学びにおける
域内各校の指導を充実

実施要領2.(3),(4)関連

生徒に魅力ある活動の場を

- ・採択校を情報発信源とする域内他校の生徒への
デジタル・ICT機器の活用機会の提供
- ・普通科高校では触れないようなデジタル機器等を
各地域の拠点校となる採択校を会場として利用
- ・機器の活用をはじめとした交流から、学校独自の
生徒の成果発表、学校をまたいだ課題研究へ展開

⇒デジタル機器の利活用を通じて、学校の枠組みを
超えた多様な生徒の関わりや探究的な学びの質的
向上を推進

域内のデジタル人材育成

静岡県

探究学習を加速するDXスキルアップ教員対象研修

探究学習アップデート研修～DXで教育をデザインする～（実施要領2.（1）関連）

生成AI講座

AIの基礎知識と教育現場での活用方法等

プログラミング講座

プログラミングの基礎と探究活動での活用方法等

データサイエンス講座

データ収集・分析の基本技術と地域課題の解決等

コンテンツ作成講座

デジタルコンテンツの制作とプレゼンテーション等

目的：①情報Ⅱの内容を探究活動に生かすため、その基礎となる知識・技術を身に付ける。
②探究学習とDXの関連性を理解し、両者を融合した授業デザインができるようになる。

対象：教科情報担当者のみならず全教員

講師（予定）：デジタルハリウッド大学、ソフトバンク、サンリアリティ 他

内容：特別な設備や環境がなくても活用することができる教材を使用する。



専門家による伴走支援（派遣又はオンライン）（実施要領2.（1）関連）

探究学習におけるDXの活用に関する質問や相談を受け付け、今後の具体的な取り組みに役立てることを目的とする。

各学校におけるDXを活用した探究学習の実践

探究学習×DX 学びの進化を加速する活用発表会&教材紹介

（実施要領2.（1）関連）

モデル校の生徒が探究学習を通してどのように成長したか、DXをどのように活用したかについて、具体的な事例を交えて紹介。各学校での今後の取組に活かせるアイデアやヒントを得ることを目的とする。

域内の
デジタル人材育成

愛知県

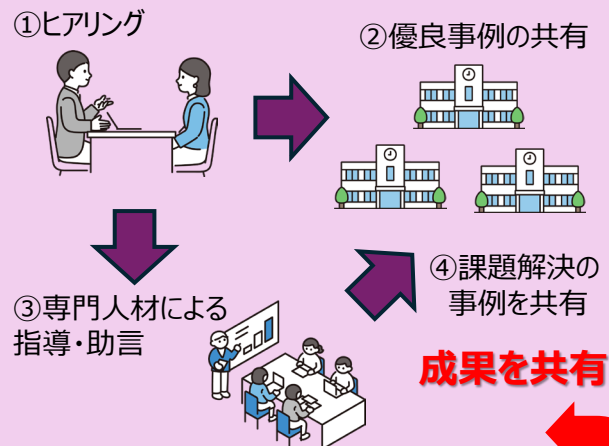
域内連携強化とデジタル人材育成に向けた裾野の拡大

取組内容①（実施要領2.（2）関連）

目的 採択校における、本事業の成果普及と充実を図る。

- 内容**
- ① 域内の採択校全ての取組状況をヒアリング。
 - ② 優良事例を採択校間で横展開。
 - ③ 希望する学校には、取組の課題解決のため、大学や企業から専門人材を招聘し、進め方の指導や助言を実施。
 - ④ 課題解決の取組事例を共有。

取組イメージ



取組内容②（実施要領2.（3）関連）

目的 生徒の興味関心を引き出し、思考力、判断力、表現力等の向上を図ることで、高等学校等におけるデジタル等成長分野を支える人材の育成を行うとともに、採択校以外の裾野を広げる。

- 内容**
- ① 大学や企業等と連携し、アプリやHP等の成果物の制作を必須とした、ハンズオン型のデジタル人材育成講座を実施。
 - ② 最終的な成果を発表し、他校の生徒との交流を行う。

取組イメージ

